

【新規要請項目一覧】（14 項目）

《「リニア大交流圏」の形成》

1 広域道路ネットワークの整備推進（制度拡充及び道路関係予算の確保）

【国土強靱化に必要な予算・財源の確保】

- ◆2025 年度が最終年度となる防災・減災、国土強靱化のための 5 か年加速化対策に必要な予算・財源を確保すること。また、5 か年加速化対策後も取組を進めるため、国土強靱化実施中期計画を 2024 年内の早期に策定し、当初予算を含め、速やかに必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保すること。

《産業首都あいち》

7 持続的な経済成長の実現と産業競争力の強化

【地域未来投資促進税制の課税特例措置の延長】

- ◆2024 年度末が適用期限となっている地域未来投資促進税制について期限を延長し、地域経済牽引事業を積極的に支援すること。

12 エネルギー価格高騰への対応及び価格転嫁・取引適正化対策などに係る中小企業支援の推進

【価格転嫁・取引適正化対策の推進】

- ◆原材料及びエネルギー価格上昇分に加え労務費を含めた適切な価格転嫁を行うため、労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針の周知徹底、価格交渉・価格転嫁の状況の評価が芳しくない発注企業に対する指導・助言、パートナーシップ構築宣言の更なる拡大・実効性の向上などの価格転嫁・取引適正化対策を推進すること。

《農林水産業の振興》

15 農業の生産力強化

【農産物の持続的な供給を可能とする合理的な価格形成の実現】

- ◆改正食料・農業・農村基本法に基づき、生産者が再生産可能な価格形成を実現できる施策を早期に講じること。

16 農業農村整備事業の促進

【カーボンニュートラルの推進】

- ◆小水力や太陽光を始めとする再生可能エネルギーや水素・アンモニアなどの新エネルギーの導入、揚水機場の木造・木質化による木材利用など、カーボンニュートラルの実現に資する事業制度の充実をより一層進めていくこと。

17 森林の適切な管理と林業の活性化

【花粉発生源対策の推進に係る財源の確保】

- ◆都市部と戦後に植栽された人工林が多い三河山間部を抱える本県の地域特性を踏まえ、スギ人工林全域を設定した「スギ人工林伐採重点区域」における、花粉発生源対策を強力に推進するために必要な予算を確保すること。

《人が輝くあいち》

19 学校教育の充実

【教師の処遇改善と財源の確保】

- ◆優れた人材を教師として確保するため、人材確保法の趣旨を踏まえ、法改正を含めて教師の処遇の抜本的な改善策を講ずるとともに、必要な財源のあり方を適切に検討した上で、必要な財政措置を行うこと。

【奨学金返還支援対象の拡大】

- ◆奨学金返還支援について、学部段階の奨学金も対象とすること。

【高等学校における施設整備への補助対象の拡大】

- ◆現在、補助対象となっていない高等学校の施設整備についても、屋内運動場の空調整備や防犯カメラ整備などを含めて補助対象とし、財政措置を講ずること。

20 就学支援の充実

【高等学校等就学支援金制度の拡充】

- ◆高等学校等就学支援金制度について、全ての意志ある高校生等が安心して教育を受けることができるよう、支給月数の制限を緩和するとともに、併修により支給限度額を超過する授業料についても支給対象とすること。

【学校給食費の無償化】

- ◆学校給食費の無償化の実現に向けては、学校給食に関する地域の実態等を考慮した上で、国の責任と財源による制度設計を行うこと。

22 こども政策の充実

【子どもの医療費に係る国の支援制度の創設等】

- ◆子育てに係る経済的負担軽減のため、子どもに関する医療保険の更なる充実、又は子どもの医療費に対する新たな国の支援制度の創設を図ること。

26 障害のある人の地域生活を支える体制の整備

【株式会社恵の行政処分により影響を受ける利用者の受入先確保】

- ◆株式会社恵が運営する共同生活援助の利用者が引き続き適切な福祉サービスを利用できるよう、必要な措置を講じること。

《安全・安心なあいち》

34 南海トラフ地震対策等の推進

35 社会インフラの老朽化対策

36 治水・利水対策の推進

【国土強靱化に必要な予算・財源の確保】

※ 「1 広域道路ネットワークの整備推進」と同一内容

《行財政改革・地方分権の推進》

45 人口減少下でも安心・快適に暮らせる社会の実現に向けた地方創生の推進

【人口問題対策及び人口減少下でも安心・快適に暮らせる社会の実現に向けた支援】

- ◆東京一極集中の是正や自然減対策などを強力に推進するとともに、人口減少下でも安心・快適に暮らせる社会の実現に向けて地方が主体となる取組に対して積極的に支援すること。